

エンジンやプロペラの  
取付作業

船の安全航行に  
欠かせない！

# (有)I.C.エンジン



## 船の「心臓部」を支える 1/100 ミリの世界で闘う職人たち

有限会社インターナル・コンバステーションエンジン (I.C.エンジン) は、主にエンジンや舵取機、プロペラ、発電機など重要な装置の取付作業を行っています。そんな船の「心臓部」を支える仕事をのぞいてみました。



### こんな仕事です

船のエンジンや舵取機、プロペラ、発電機などの取付やメンテナンスを行います。どれも船の安全な航行に欠かせない基幹装置で、人間に例えるなら「心臓部」。もしそこでトラブルが生じてしまったら、船は動かなくなるリスクも。それを回避し、船員たちの命を支える重要な仕事です。



舵取機の取付作業



舵は船の進路を操る基幹装置の1つ



### 会社情報 Company profile

会社名	有限会社インターナル・コンバステーションエンジン
業種	船舶の艦装仕上等
代表者	代表取締役 下川 善信
会社住所	〒876-0005 大分県佐伯市大字石間浦476
社員数	5名
平均年齢	55歳



### 採用情報 Recruit information

職種	船舶の艦装仕上等
勤務地	本田重工業(株) 造船所内
勤務時間	8:00~17:00
給与	年齢、経験を考慮
休日	休日カレンダーに準ずる
各種手当	有り
保険等	有り
応募資格	特になし
応募方法	電話
問合せ先	インターナル・コンバステーションエンジン TEL: 090-7465-7053



1. 舵取機の取付作業。舵取機とは、船の進路を操る舵の動力を生み出す装置のこと。安全な航行に必要な機械だ

2,3. それゆえ、設置位置が少しでもズレると、船の航行に大きな影響を及ぼしかねない。1/100ミリの世界で、職人たちが目を光らせている



突撃ライターが  
ずばり社長に聞いた！

## (有) I.C.エンジンとはどんな会社？

# エンジンや舵、プロペラの取付 希少な職人技、「船員の命を守る」

入社したら、どんなことができるのか。会社はこれから、どんな未来へ向かっていくのか。  
全国各地の仕事や暮らしを取材してきたライターが経営陣を直撃しました。



舵取機をはじめ、船の動力を生み出すような核となる機械の取付だからこそ、わずかな誤差が命取りになりかねない。熟練技をもつ作業員が声をかけ合い、一つひとつの作業を慎重に進めていく

### 技術者不足、各地からSOSの声

「私たちはエンジンや舵など、特に重要な装置の仕上げ作業を担っています。もしも荒天時、海が荒れたときなどに機械が壊れたりしたら、船員の命が脅かされます。この仕事には、人間で言えば『心臓部』と言えるような基幹部分を支える役目があるんです」。

下川社長はそう言って、I.C.エンジンが果たしている役割の重要性を説きます。言い換えれば、取り付ける位置などを少しでも間違えれば、大惨事をもたらしかねない責任重大な仕事とも言えそうです。

そして、下川社長いわく、それは「1/100ミリ単位の微調整が求められる世界」。特殊な計測装置を使いながら、経験豊富な職人たちが真剣な眼差しを向けます。その熟練の手技が、船の安全な航行を支えているのです。

「経験が一番ですね」と下川社長。数ある造船に関わる仕事の中で

も、経験値がモノをいう仕事でもあるそう。その影響もあり、この分野の技術者は近年、不足気味だといいます。そのため、I.C.エンジンは各地の造船所から引く手あまたの状態に。SOSの声が次々と届き、現場を駆け回っているそうです。

### 若手社員が加入、大事なのは好奇心

ただ、このままでいいはずがありません。「この技術を、なんとか後世に引き継いでいかないといけない」（下川社長）と、I.C.エンジンにも若い作業員の姿が。

近い将来、現役引退も視野に入れているという下川社長は、若手スタッフについて「すごく真面目で、このまま順調に育ってほしいですね。時間はかかるかもしれませんが、未経験でも真剣に取り組めば、一流の技術を身につけられます」と高い期待を寄せています。

職人に最も必要なことは何なのか。

下川社長にそう問うと、「好奇心がある人が一番ですね」。

自身も「好奇心のかたまり」と話す下川社長は、実は農業高校卒で、趣味は盆栽や園芸だといいます。ただ、造船の世界に飛び込み、長いキャリアを重ねてきました。それを支えたものの1つが、「腕を磨きたい」「もっと知りたい」という好奇心だったそう。

残されたキャリアを、若い人材の育成にも注ぐ。そんな思いで、これからI.C.エンジンの舵取りを担っていく覚悟です。



代表取締役 下川 義信

社員が  
本音で語ります

## ここに仕事のやりがい、あります

### 01 最年少31歳の新たなキャリア

「和気あいあいとしていて、居心地がいいです」

現在31歳で、入社して4年ほど経ちました。以前は別の製造業の仕事に携わっていましたが、ハローワークで新しい仕事を探していたときに、この職場を見つけたんです。それまで造船の仕事はまったく馴染みがなく、想像もつかない世界でした。

私たちはエンジンやプロペラなど、船の中でも重要なパーツの取付を任されています。取付は繊細な作業です。「ここまで細かい数字を出すのか」と驚きの連続でしたね。まだまだ力は足りませんが、少しずつ慣れてきました。

実際に入ってみて感じたのは、年上の先輩たちが多いことです。ただ、年は離れていますが、作業中や休憩中の雰囲気は和気あいあいとしていて、楽しいですよ。私は一番若いので、先輩たちにいつもかわいがってもらっています。手取り足取り、丁寧に教えてくれるのでありがたいですね。とても居心地のいい会社です。

若い作業員が少ない分、技術を覚えればいろんなところで活躍できるし、高く評価される可能性があると思っています。先輩からはよく「覚えたもん勝ちだ」なんて言われます。腕を磨いて、いろんな人に必要とされる技術者になりたいですね。

高齢になると、体力的に難しい仕事かもしれません。だからこそ、若いうちに経験し、技術を磨くことは長いキャリアを考えてもいい選択になるはずですよ。同世代や若い人に仲間になってもらえたら、心強いですね。(30代男性)



1.社内で最年少の若手社員。先輩たちにかわいがられ、「居心地はいいですよ」と笑顔で話す 2.経験豊富な下川社長も現場に立ち、後継者の育成に力を注いでいる

こんな人に  
ぴったりの仕事です！

周りに自慢  
できるような  
技術を覚えたい人

船の基幹装置を  
支える仕事に  
携わりたい人

先輩がやさしい  
アットホームな職場で  
働きたい人

若いうちに  
腕を磨き、  
将来ステップアップ  
したい人

モノづくりが好きで、  
好奇心が旺盛な人

ある職員の1日♪  
スケジュール

- 07:00 起床
- 07:45 出社
- 08:00 午前始業  
体操
- 10:00-10:15 休憩
- 12:00 午前終業
- 13:00 午後始業
- 15:00-15:15 休憩
- 16:50 構内片付け  
清掃
- 17:00 午後終業
- 18:00 帰宅



すべての機械は  
電気で動く！

電気工事の  
エキスパートに！

# (株)大分船舶電装社



## 電気を流し、エンジンを動かす 船の「血管」を強くする船舶電装工

船内の電気工事を手がけている株式会社大分船舶電装社。エンジンをはじめ、船を動かすのに必要不可欠な電気は、人間に例えれば「血管」。強く、太く、そして健康に。船の安全な航海、船員の快適な暮らしを支えています。



### こんな仕事です

船内の電気工事をを行います。船に搭載されるエンジンやモーター、レーダーなどの機械を動かすため、おびただしい数の電線をつなぎ合わせていきます。エンジンが「心臓」なら、電線は「血管」。船を動かすのに欠かせない大事な仕事です。1本の電線が、安全な航海の命運を握っています。



電線は船内の隅々に張り巡らされている



笑顔で現場を盛り上げる原政義社長



会社情報 Company profile	
会社名	株式会社 大分船舶電装社
業種	船舶電装業
代表者	代表取締役 原政義
会社住所	〒870-0022 大分県臼杵市大字末広737-2
社員数	4名
平均年齢	50歳



採用情報 Recruit information	
職種	船舶電装業
勤務地	(株)臼杵造船所 構内
勤務時間	8:00~17:00
給与	
休日	臼杵造船所のカレンダーに準ずる
各種手当	通勤手当・職務手当
保険等	雇用保険・労災保険・健康保険・厚生年金
応募資格	
応募方法	履歴書(要写真)及び職務経歴書を郵送ください。別途、面接日を調整します。
問合せ先	株式会社 大分船舶電装社 採用担当 TEL: 0892-63-8168



1.天井から垂れ下がる電線の数に驚く。エンジンルームや船長室、操舵室など、電線は船のあらゆる場所にあり、多くの作業員が現場を駆け回っている

2.図面は大半が英語で書かれているという。素人ではまったく読み取れないが、職人の目を通せば一目瞭然

3.1本でも配線を間違えば、電気が行き届かないリスクも。作業員は声をかけ合いながら、慎重に作業を進めていく



突撃ライターが  
ずばり社長に聞いた！

## (株)大分船舶電装社はどんな会社？

# 現場第一主義、チームワークを大切に 電気工事のプロフェッショナル

入社したら、どんなことができるのか。会社はこれから、どんな未来へ向かっていくのか。  
全国各地の仕事や暮らしを取材してきたライターが経営陣を直撃しました。



船内の四方八方に張り巡らされている無数の電線。もちろん、不要な電線は1本たりともない。図面に間違いがないかどうか、現場の作業員らはコミュニケーションを取りながら確認作業を行う

### エンジン、モーター、照明、空調…

私たちの身の回りにはテレビや冷蔵庫、エアコン。言うまでもなく、それらはすべて「電気」で動いています。そして、それは船も同じ。電気が正常に行き渡らなければ、船を動かすことはできません。

船内に設置されている機械・装置は、すべて電気で動いています。エンジン、モーター、レーダー、照明器具、空調・冷凍設備、衛星航法装置、魚群探知機。挙げればキリがありません。それらの機械を正常に動かすために、船内の電気工事を請け負っているのが大分船舶電装社です。

100メートルをゆうに超える巨大な船。それを「上から下まで、前から後ろまで、私たちは丸ごと1隻の電気工事を担っています」と原社長。「全体の工程から見ると、仕上げ作業の部類に入ります。工事が無事に完了し、船主に引き渡されて出航していく。その瞬間を目にするたびに、大きな達成感を味わえます」と、電気工事の魅力を語ってくれました。

### 現場畑の社長、コミュニケーションを大事に

大分船舶電装社には50年近い社歴があり、長く白杵造船所で電気工事を手がけてきました。10年ほど前に就任した原社長は、以前は半導体製造工場マシンオペレーターをしていたそう。異業種からの転職で当初は電気工事のイロハを覚えるのに苦労したそうですが、だからこそ現場への思いが人一倍強いといいます。

「私は現場畑。常に現場に入って、作業員と一緒に仕事しているんです。みんな、毎日同じ船の中で働いている仲間です。コミュニケーションは大事にしていて、なるべく声かけをしながら現場を盛り上げようと心がけています」

### 白杵ならではの一体感とチームワーク

まさにその、原社長が口にした「コミュニケーション」は、大分船舶電装社や白杵造船所を象徴するキーワードの1つといえそうです。

「この造船所は、ほかの協力会社も含めて距離感が近いんです」というの

が、その理由です。例えば、巨大な造船所を抱えるJMU（ジャパンマリンユナイテッド）などと比べると、事業規模や船のサイズは小さい。ただその分、協力会社間や作業員同士が普段から接する機会が多く、現場では互いにコミュニケーション取り合っているそうです。

「あとは、地元出身の作業員が多いことも大きいですね。他の造船所の人から『白杵（造船所）は仲がいいな』とよく言われるんですよ。私は50歳（2021年11月現在）ですが、40代の若い社長も最近増えています。近い世代で話しやすいですね。一体感やチームワークは当社の、そして白杵造船所の売りかもしれませんね」



代表取締役 原政義

社員が  
本音で語ります

## ここに仕事のやりがい、あります

### 01 友人とともにモノづくりの世界へ 手に職をつけ、腕次第で稼げる仕事

6年ほど前から電気工事の仕事をしています。それ以前は、造船とはまったく関係のない営業の仕事などに携わってきました。きっかけは、友人が白杵造船所で仕事を始めるというので、一緒に挑戦しようと思ったんです。私にとってはこういう現場作業そのものが初めてでしたが、もともとモノづくりには興味があったんです。

造船の仕事の中でも、電気工事は知識と経験がモノを言う難しい職種だと言われています。一人前になるには、10年くらいはかかるのではないのでしょうか。大変ですが、なんとか先輩たちに必死でついていき、できることも徐々に増えてきましたね。

技術を身につけるまでに時間はかかるかもしれませんが、その分手に職をつけられるメリットがあるはず。しかも、難しい仕事だからか、他の職種と比べても世代交代が少し遅れているようなところがあります。

でも、船は今後もなくならないでしょうし、つくっていく必要があります。つまり、若くして腕を磨くことができれば、いろんな現場で活躍でき、給料の面でも腕次第で稼げるようになると思いますよ。きっと、生活には困らないはずです。

私自身、まだ技術を磨いている最中ですが、できる限り長くこの仕事を続けていきたいですね。（30代男性）



1.大きな満足感を味わえるのは、「イメージ通りに電線を配線できたとき」とある社員は話す 2.船の電気系統を支えている無数の電線 3.船内を明るく照らす光が、長い航海に挑む船員の心に束の間の安心感を与えている

こんな人に  
ぴったりの仕事です！

一流の職人技を  
学びたい人

手に職をつけ、  
安定した生活を  
送りたい人

機械装置の配線に  
興味がある人

社員の距離感が  
近い会社に  
勤めたい人

現場を大事にする  
社長のもとで  
働きたい人

ある職員の日♪  
スケジュール

- 07:00 起床
- 07:45 出社
- 08:00 午前始業  
体操
- 10:00-10:15 休憩
- 12:00 午前終業
- 13:00 午後始業
- 15:00-15:15 休憩
- 16:50 構内片付け  
清掃
- 17:00 午後終業
- 18:00 帰宅



最終仕上げの  
大事な役割！

最初はマンツーマン  
指導から！

# アルプス工業(株)



## 船の整体師、「歪取り工」 希少な技術の継承に挑む職人たち

アルプス工業株式会社は、船体の歪みを修復する「歪取り」の数少ない専門業者です。一人前の歪取り工は各造船所内に数えるほどしかいないそうで、造船業界で特殊な役割を担っています。その中身とやりがいに迫ります。



### こんな仕事です

船体の「歪取り」作業を行います。溶接の際に熱で膨張して生じた歪みを、ガスバーナーで加熱、水で冷却する作業を繰り返し、本来の水平な形に戻します。最終仕上げの重要な作業。頭を使ってコツを覚える、モノづくりの緻密さが凝縮されています。専門業者は全国的に少なく、各地の造船所で重宝されています。



定規の下の空洞になっている部分が「歪み」



それをガスと水を使って真っ平らに直す



1.2.ガスバーナーで加熱、水で冷却。この地道な作業を繰り返し、歪みを修正し水平な床や壁に仕上げていく。微妙なさじ加減がモノをいう、まさに熟練の手技

3.こうした船体ブロックを取り付けた後に、船の各所で歪取り作業が行われる

会社情報 Company profile	
会社名	アルプス工業 株式会社
業種	船舶造修業
代表者	代表取締役 麻生 晃司
会社住所	〒879-2456 大分県津久見市門前町1-17
社員数	2名
平均年齢	39歳

採用情報 Recruit information	
職種	歪取り工事
勤務地	(株)白杵造船所 構内
勤務時間	8:00~17:00
給与	月給:16万~21万 / 賞与:年2回 ※前年実績
休日	週休2日制・GW・年末年始・夏季休業あり
各種手当	通勤手当
保険等	雇用保険・労災保険・健康保険・厚生年金
応募資格	不問
応募方法	面接
問合せ先	アルプス工業株式会社 代表取締役 麻生 晃司 TEL:090-7924-8187



突撃ライターが  
ずばり社長に聞いた！

## アルプス工業(株)はどんな会社？

# インターネットには載っていない！ 7人のプロ集団、「縁の下」の力持ち

入社したら、どんなことができるのか。会社はこれから、どんな未来へ向かっていくのか。  
全国各地の仕事や暮らしを取材してきたライターが経営陣を直撃しました。



歪みは、船のありとあらゆる場所に生じるという。居住区を中心に作業員が船内を駆け回り、船員らの安全や快適な生活を支えている

### スポットは当たりにくい、大事な仕事

「私たちの仕事は、『歪取り』です」。アルプス工業を率いる麻生社長にそう説明してもらった取材陣ですが、すぐに意味を理解できず、頭の中に「？」が浮かんできました。「溶接」や「組立」といった言葉には馴染みがありました。が、「歪取り」は初耳だったのです。

ただ、どうやらそれもそのはず、だったようです。「造船の業種の中でも、特殊でマニアックな仕事ですからね」と麻生社長。

「歪み」とは、鉄板を溶接したり、組み立てたりする際に熱によって鋼板が膨張する現象のこと。そして、それをガスバーナーによる熱と水による冷却作業を組み合わせて、真っ平らな元の状態に戻す作業を「歪取り」というそうです。

それは、「船の端から端まで、あらゆる場所で生じているんです」と麻生社長。たった1つの小さな歪みが、大きなトラブルに発展してしまう可能性もあります。だからこそ、「スポットは当たりにくいかもしれませんが、大事な仕事なんです。まさに、縁の下の力持ちですね」と、麻生社長は歪取りの魅力を語ります。

### 若手を歓迎。

#### マンツーマン指導からスタート

数ある造船の仕事の中でも、特に「カンを頼りに行く作業」（麻生社長）でもあるそう。繊細な作業が求められるからで、マニュアルをつくるのが難しく、当然インターネットで調べることもできません。

その影響もあってか、歪取りを専門的に扱う業者は全国的に少なく、一流の職人は各造船所内に数えるほどしかいないそう。そのため、全国の造船所から「来てくれないか」とSOSの声がかかるということです。ここで技術を磨けば、各地の造船所で活躍できるチャンスもあるというわけです。

そんなアルプス工業は現在、7人体制で現場を駆け回っています。キャリア10年を超えるようなベテランから、未経験で入社した修行中の社員まで、その顔ぶれは多彩です。

熟練技が求められるため、未経験では難しいのではないかと。そんな疑問や心配も浮かんでいますが、「最初は先輩作業員とのマンツーマンでの作業からスタートするので、心配ありま

せんよ」と麻生社長。実際、最近になって高校求人始めるなど、若手の育成に力を注いでいます。

そして、麻生社長は今後の展望についてこう力強く語ってくれました。「私自身、いろんな造船所を回ってきました。そこで目にした新たな発見や刺激を取り入れながら、歪取りの技術をどんどん進化させています。この希少な技術を、後世に継承していきたいですね」



代表取締役 麻生晃司

社員が  
本音で語ります

## ここに仕事のやりがい、あります

### 01 未経験でも安心のマンツーマン指導溶接や取付、プラント設備にも応用できる

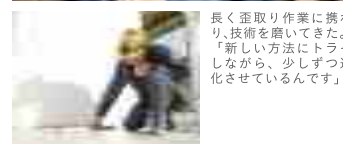
まだ今ほど人数のいない初期の頃から、麻生社長と二人三脚で現場作業に携わってきました。少しずつ仲間が増え、現在は7人体制です。

歪取りの作業には、職人のカンに頼る部分が多くあります。高度なスキルが求められるため、教育も一筋縄ではいきません。長年の感覚でやっているような作業を、うまく言葉にして伝えるのが難しいんです。

加えて、すぐに技術をマスターできるわけではありません。私も新人時代は苦労しました。それでも、真面目にコツコツ取り組んでいれば、今の私のように技術を磨くことができます。苦労した分、やりがいは大きいんです。

ですから、未経験でも大丈夫ですよ。最初はベテランの作業員とマンツーマンで一緒に作業しながら、じっくり覚えてもらうようにしています。わかりやすく伝える、教えることは常に心がけていますね。

歪取りの技術を身につけられれば、溶接や取付作業などにも知識を活かれます。さらに船だけでなく、プラント設備などの業界や現場にも応用できます。手に職をつけたい人にとっては、とてもいい経験になると思いますね。(40代男性)



長く歪取り作業に携わり、技術を磨いてきた。「新しい方法にトライしながら、少しずつ進化させているんです」

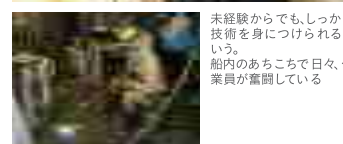
### 02 30歳の節目に一大決心、造船の世界へ。興味さえあれば、初心者でも成長できる

現在、入社7年目です。以前は家電の営業関係の仕事をしていましたが、30歳の節目の前に「生き方を変えてみよう」と、今までやったことのない仕事にチャレンジしてみようと。それで、思い切って造船の世界に飛び込みました。

では、なぜ「歪取り」だったのか。それは、直感的に「おもしろそう」と思ったからです。まったく聞いたことのない、しかも難しいような作業でした。でも、だからこそ興味を湧かしたんでしょうね。

入社後は、先輩に教えてもらいながら、少しずつ仕事を覚えていきました。みなさん、指導にとっても熱心なんです。正直、最初はわからないことが多かったですよ。でも、大事なのは興味、好奇心です。私にはそれがあったので、ここまで続けることができたんだと思います。先輩たちの熱意に応えたい気持ちもありましたね。

職人の世界にはスパルタ教育のイメージがあるかもしれませんが、麻生社長は30代半ばと若く、古きよき時代の考え方は違います。ベテランも若手も一緒になって、チームとして成長していく。そういう姿が、今後のスタンダードになっていくのではないのでしょうか。(30代男性)



未経験からでも、しっかり技術を身につけられるという。船内のあちこちで日々、作業員が奮闘している

### 03 定時で帰宅、安定した休日

時期によって多少の波はありますが、休日は安定して取ることが出来ます。作業量が多いときは1日当たり数時間の残業があることもありますが、そうでなければ朝8時から夕方5時までの定時で帰宅できますし、土日とも休めます。(40代男性)



こんな人に  
ぴったりの仕事です！

マンツーマンの指導を受けたい人  
集中力が必要な作業が得意な人

頭を使ったモノづくりに  
関心のある人

若い社長のもとで  
自分らしく働きたい人

特殊なスキルを  
身につけたい人

ある職員の1日  
スケジュール

07:00

起床

07:45

出社

08:00

午前始業  
体操

10:00-

10:15

休憩

12:00

午前終業

13:00

午後始業

15:00-

15:15

休憩

16:50

構内片付け  
清掃

17:00

午後終業

18:00

帰宅



特殊な装置を使う  
プラズマ溶接！

手に職をつけ、  
長く働ける！

# (有)白杵工業



## 地域に根を張り約 50 年 取付・溶接のプロフェッショナル

船体ブロックの取付・溶接を行っている有限会社白杵工業。約50年にわたって、白杵の造船業を支えてきました。ここには、手に職をつけ、安定して長く働ける環境があります。一流の技術をもつ社員たちの姿に迫ります。



### こんな仕事です

船体ブロックの取付・溶接作業を行います。おもちゃのブロックを積み上げるように、大小様々なブロックをつなぎ合わせ、船の輪郭をつくっていきます。白杵造船所が手がけるケミカル船の場合はステンレス素材を扱うため、鉄よりも高い技術が必要。ここで技術を磨けば、他でも通用する一流の溶接工になれます。



船上に様々なブロック・パーツを取り付けていく



わずかな誤差も許されない高い溶接技術が必要



1.2. 鉄は気温などによって伸び縮みするため、それも頭に入れる必要がある作業。ステンレスの製タンクは鉄よりも難易度が高いので、通常の場合には「プラズマ溶接」で行う

3. 晴れた日は青い空と海に囲まれながら、開放的な気分です。仕事に打ち込める

会社情報 Company profile

会社名	有限会社 白杵工業
業種	船舶造修業
代表者	代表取締役 衛藤 高志
会社住所	〒875-0034 大分県白杵市板知屋1番地
社員数	30名
平均年齢	45歳

採用情報 Recruit information

職種	造船鉄鋼/溶接/クレーン/玉掛け
職務内容	
勤務地	(有)白杵造船所 構内
勤務時間	8:00~17:00
給与	日給:8,000円~12,000円/ 賞与:年2回
休日	土曜・日曜・祝日(休日出勤あり)
各種手当	通勤手当・家族手当・役職手当・家族手当
保険等	雇用保険・労災保険・健康保険・厚生年金
応募資格	未経験者可
応募方法	電話での問い合わせ
問合せ先	有限会社 白杵工業 代表取締役 衛藤 高志 TEL:0972-62-5694



突撃ライターが  
ずばり社長に聞いた！

## (有)白杵工業はどんな会社？

# 社員30人、ほとんどが未経験からスタート 「100年企業」を目指す挑戦

入社したら、どんなことができるのか。会社はこれから、どんな未来へ向かっていくのか。  
全国各地の仕事や暮らし取材してきたライターが経営陣を直撃しました。



地上で製造されたブロックをクレーンで吊り上げ、下から積み上げながら船の形をつくっていく。そのブロックを1つずつ取り付け、つなぎ合わせるのが白杵工業の役目だ

### 初心者を一人前の職人に育てるノウハウ

「夏と冬では鉄の膨張率が異なるので、その伸び縮みも計算しながら、図面通りにぴったりブロックを取り付けていく必要があります。職人の豊富な知識や経験が大事になってくるんです」。白杵工業が果たす役割の重要性について、衛藤社長はそう話します。  
そう考えると、未経験で働くことは難しいのかもしれない。そんな心配も浮かんでいますが、決してそうではないようです。「現在、社員は30人ほどいますが、ほとんどの人が未経験からスタートしました」と衛藤社長。

初心者でも、時間をかけて少しずつ体に技術を染み込ませていけば、一流の職人になれるのです。衛藤社長は、「未経験からでもできる仕事。うちにはベテラン社員が多くいるので、1から丁寧に教えていきます。初心者一人前の職人に育てるノウハウがあります」と力を込めます。

### 家族のような社員、アットホームな職場

そんな白杵工業は約50年にわたってこの地に根を張り、白杵の造船業を支え

てきました。現在45歳（2021年11月現在）の衛藤社長も、新卒直後の3年間のサラリーマン生活を除けば、造船一筋の人生です。「もちろん多少の山・谷はありますが、安定しているところが造船業の強みではないでしょうか。造船所は大分だけでもたくさんありますし、全国に広がればもっとです。技術さえ身につければ、仮に会社が変わってもいろんな場所で働けます」  
もちろん、すぐに一人前になれるような楽な仕事ではありません。でも、それはきつとどんな仕事でも同じ。だからこそ、「少しでも楽しくやれるといいですね」と衛藤社長。「考えてみれば、社員とは家族よりも長い時間を過ごしています。そういう意味では、家族に近い存在なんですよ。社員にアットホームな雰囲気を感じてもらうために、居心地のいい職場にしよう」と心がけていますよ」

### 習得した技術は、かけがえのない財産

そんな社員思いの衛藤社長ですが、目指すは100年企業だそう。「仕事は生活の基盤です。それがしっかりしていな

いと、社員本人も家族も安心して暮らせないはず。社員が安心して働ける会社として、もう50年続けられるようにがんばりたいですね」  
そして、若い人を中心に新入社員の加入も大歓迎の様子。「造船所の仕事は見慣れず、想像つかないという話をよく聞くんです。ただ、技術を身につければ、大きな財産になります。まさに手に職をつけられる仕事です。ぜひ安心して飛び込んできてほしいですね」と力強く語ってくれました。



代表取締役 衛藤 高志

社員が  
本音で語ります

## ここに仕事のやりがい、あります

### 01 自前のデニム作業服で気分もアップ？ 入社7年、地元で暮らす第2の人生

今着ているのは、自前で買ったデニム素材の作業服です。え、おしゃれに見えますか？実は、汚れが目立たないよという理由なんですけどね（笑）

現在、入社して7年目になります。以前は町工場などで働いていたんですが、溶接に興味があって求人を探していたところ、白杵工業を見つけました。ケミカル船で使われるステンレス素材は、同じ溶接でも難易度が高いんです。先輩から教えてもらったり、ベテラン社員の仕事を観察したりしながら、少しずつ技を磨いていきました。

どんな仕事もそうだと思いますが、図面通りにぴったりうまく溶接できたときは、うれしいですよ。もちろん、最初は失敗することもありましたよ。でも、少しずつできるようになっていく過程が、自分の成長を感じられて楽しんです。

うちにはベテラン社員が多く在籍していますが、社内人間関係はいたって良好だと思います。ギスギスした雰囲気は一切なく、みんなフランクに接してくれます。

職人の世界は堅苦しいイメージがあるかもしれませんが、そんなことはまったくないですね。もう、それは一昔前の話でしょう。もし新しい社員が入ってきてくれたら、手取り足取り、やさしく教えてあげたいですね。

白杵工業への転職とともに、地元に戻ってきました。生まれ育った町には愛着があり、やっぱり落ち着きますね。休日は、自然に囲まれた地元でのんびり過ごすことが多いです。（30代男性）



1.社員のほとんどが未経験からスタート。先輩が手取り足取り、丁寧に教えてくれるから安心だ 2,3.一人前の技を習得できれば、細かいパーツの溶接作業でミリ単位の誤差も調整できるようになる

こんな人に  
ぴったりの仕事です！

特殊な技術を  
学んでみたい人

歴史のある会社で  
長く働きたい人

手に職をつけ、  
安定した生活を  
送りたい人

手先が器用で、  
繊細な作業に  
自信のある人

家族思いの社長と  
一緒に働きたい人

ある職員の1日♪  
スケジュール

- 07:00 起床
- 07:45 出社
- 08:00 午前始業  
体操
- 10:00-10:15 休憩
- 12:00 午前終業
- 13:00 午後始業
- 15:00-15:15 休憩
- 16:50 構内片付け  
清掃
- 17:00 午後終業
- 18:00 帰宅







突撃ライターが  
ずばり社長に聞いた！

## SID(株)はどんな会社？

# きつい仕事も楽しく！ 息ぴったりのチームプレー

入社したら、どんなことができるのか。会社はこれから、どんな未来へ向かっていくのか。  
全国各地の仕事や暮らしを取材してきたライターが経営陣を直撃しました。



船体ブロックは巨大だが、溶接・組立に求められる精度はコンマ数ミリの世界。職人たちの熟練の技が船づくりを支えている。作業員同士がよくコミュニケーションを取り合っているSIDの現場には活気がみなぎっている

### 45歳の若手社長のモットー

SIDは2016年に設立された新興企業で、率いる板井社長も45歳と若い（2021年11月現在）。現在は、下請け業者を含めて20数人の作業員が現場を支えています。手がける製品は、巨大な船体ブロック。「作業員一人ひとりの高い技術を結集し、全員で1つのモノをつくり上げる」(板井社長)、そんなスケールの大きなモノづくりが魅力です。

そんなSIDの最大の特徴は、チームワークのよさです。1つひとつの部材やパーツを組み合わせ、大きなブロックをつくり上げる仕事は、作業員のチームプレーが欠かせません。SIDの現場では互いに声をかけ合いながら、息ぴったりのチームプレーが日々繰り返されています。

現場には和気あいあいとした雰囲気が漂い、「造船の仕事は初めてだった」というある30代の作業員は「先輩から怒られたことが一度もないです」というほど、フレンドリーな職場だそう。

その裏には、板井社長の「きつい仕事も楽しく」というモットーがあるようです。「もちろん、仕事の楽しさは人それぞれ違うと思いますが、それを各々が見つけながら働いてほしいんです。ギスギスした状態でやるのではなく、和気あいあいとした雰囲気からいいモノづくりは生まれるはず」と、板井社長は話します。

### 「仕事仲間でもあり、友人でもある」

そんな職場の明るい雰囲気は、社外でも同じ。プライベートでも社員の仲はいいそうで、板井社長自身も趣味のスノーボードに作業員を誘って一緒に行くこともあるといいます。「仕事仲間でもあり、友人でもある。そんな感じですかね」と親しい関係性について語ってくれました。

そして、新しい仲間への加入も大歓迎だそう。「少しでも興味があれば、ぜひ仲間になっていただきたいですね。大事なのは、好奇心です。興味がある

人が一番伸びます。ただ、やってみないとわからない部分もありますから、まずは一度トライしてみて、続けられそうならぜひがんばってほしい。もちろん、そのために会社としては全面的にバックアップしますよ」と板井社長。最後に、「社員の家族のためにも、みんながケガなく安全に、長く元気に働き続けられる会社になりたいですね」と会社のビジョンを語ってくれました。



代表取締役 板井孝如

社員が  
本音で語ります

## ここに仕事のやりがい、あります

### 01 造船一筋25年。「人間関係が素晴らしい」

「20歳くらいのときに造船の世界に飛び込み、もう25年ほどが経ちました。多くの作業員が声をかけ合いながら、協力しながらモノをつくっていくのが造船の仕事です。その点、SIDは何よりも人間関係がいいんです。『出勤するのが嫌だな』と感じたことはありません」(40代男性)



### 02 転勤生活を辞めUターン。母を支えるため

「地元は大分ですが、以前はジェットコースターなど遊園地の遊具をつくる仕事で全国各地の遊園地を転々としてきました。SIDに転職した理由は、病気の母をそばで支えたかったからです。そこで、地元で転勤のない仕事を選びました。地元はやっぱり落ち着きますね」(40代男性)



### 01 未経験でも、「一度も怒られたことがない」

「造船の仕事は未経験でしたが、先輩方はみんなやさしく教えてくれます。一度も怒っているところを見たことがないんですよ。とにかく『人』に恵まれ、いい環境で働かせてもらっています。今度私が先輩たちのように、新入社員にやさしく教えられるようになりたいですね」(30代男性)



### 02 休日はツーリングでお寺巡りや釣りへ

「仕事中はいつもコミュニケーションをとりながら働いていますが、作業員は社外でも仲がいいんです。他の協力会社の人たちも含め、例えば休日はツーリングで九州各地のお寺巡りをしたり、釣りに出かけたりしています。フレンドリーな雰囲気、チームワークのよさは私たちの持ち味ですね」(40代男性)



こんな人に  
ぴったりの仕事です！

個人作業よりも  
チーム作業が  
好きな人

フレンドリーな  
職場で  
働きたい人

先輩に1から  
丁寧に指導して  
もらいたい人

スケールの大きな  
モノづくりに  
携わりたい人

スキルを  
身につけて  
成長したい人

ある職員の1日♪

スケジュール

- 07:00 起床
- 07:45 出社
- 08:00 午前始業 体操
- 10:00-10:15 休憩
- 12:00 午前終業
- 13:00 午後始業
- 15:00-15:15 休憩
- 16:50 構内片付け 清掃
- 17:00 午後終業
- 18:00 帰宅



取付・溶接・仕上げの  
3本柱！

未来を照らす  
「光」のような存在に！

# (株) ヒカリ



## 取付・溶接のマルチスキル化へ 新しい時代の人材育成術

株式会社ヒカりは、船体ブロックの「取付」「溶接」「仕上げ・検査」の3つの部門を手がけています。40代の若手社長のもと、2018年に設立されたばかりのニューカマー。会社とともに、光り輝く未来へ進む航海の始まりです。



### こんな仕事です

船体ブロックの「取付」「溶接」「仕上げ・検査」の作業を担当。パズルのピースをはめるように、形の異なるブロックを次々と設置し、巨大な船を完成させていきます。石油化学製品を運ぶケミカルタンカーを数多く手がけており、私たちの生活を縁の下で支える大事な仕事です。



ミリ単位の高い精度で図面通りにピッタリと溶接



居住エリアなど船内の各所に作業員の姿はある



#### 会社情報 Company profile

会社名	株式会社 ヒカリ
業種	船舶造修業、建設業における機械器具設置業
代表者	代表取締役 吉田貴也
会社住所	〒875-0034 大分県臼杵市大字板知屋1番地
社員数	18名（女性1名）
平均年齢	45歳



#### 採用情報 Recruit information

職種	船舶造修に係る各種作業
職務内容	船台での舵部における鉄工、溶接、仕上げグラインダー、検査等 / クレーン業務
勤務地	(株)白杵造船所 構内
勤務時間	8:00~17:00
給与	月給：22万~30万 / 時給：1,200円~1,600円/賞与：年2回
休日	週休2日制・祝日・年末年始・GW、夏季休業あり
各種手当	通勤手当・役職手当・子ども手当・皆勤手当
保険等	雇用保険・労災保険・健康保険・厚生年金・退職金
応募資格	59歳以下（定年年齢60歳、再雇用65歳まで）
応募方法	履歴書(要写真)及び職務経歴書を郵送ください。別途、面接日を調整します。
問合せ先	株式会社ヒカリ 代表取締役 吉田貴也 TEL：090-5933-9980



1.2.船長室や操舵室など、居住区エリアの取付や溶接を主に担っており、船員たちの安全で快適な航海を支えています。作業員たちは、船内のあちこちをフットワーク軽く駆け回っている

3.作業の合間に、青空の下で談笑する作業員。普段からよくコミュニケーションをとっているという



突撃ライターが  
ずばり社長に聞いた！

## (株)ヒカりはどんな会社？

# オールマイティーな「多能工」を育成 「取付」「溶接」「仕上げ・検査」の3本柱

入社したら、どんなことができるのか。会社はこれから、どんな未来へ向かっていくのか。  
全国各地の仕事や暮らしを取材してきたライターが経営陣を直撃しました。



100メートルをゆうに超える巨大な船だが、取付や溶接に求められる精度は、なんとミリ単位！屈強な男たちの繊細な手つきによって、船は支えられている

### 2018年設立、社長は40代

ヒカりは、2018年に設立された新しい会社です。経営の指揮をとるのは、45歳（2021年11月現在）の吉田社長です。白杵造船所内での勤務歴は約15年、みっちり経験を積んだ後に独立し、ヒカりを立ち上げました。現在の従業員は約20人、下請けの協力会社を含めると約30人のチームを率えています。

そんなヒカ리가手がける業務は、船体ブロックの取付、溶接、仕上げ・検査の3つの部門です。「他の造船所ですと、取付や溶接などの各作業が分業されているケースが多いんですが、当社はオールマイティーな技術をもつ『多能工』を育成しようという方針なんです」と吉田社長。

「多能工」とは、一人で複数の業務をこなす、幅広い技能をもつ作業者のこと。「マルチスキル」とも言い換えられます。製造業に限らず、いろんな業界で今、必要性が叫ばれている人材のようです。ここでマルチなスキルを身につけることができれば、活躍の場所が一気に広がります。

### 数段上の技量を身につけられる

そんな技術の幅広さだけでなく、ヒカリでなら1つひとつの作業の精度も高められるメリットもあるようです。

例えば、溶接です。白杵造船所は石油化学製品を運ぶケミカルタンカーを数多く手がけています。ケミカルタンカーは特殊な液体を搭載するため、鉄ではなくステンレス製のタンクがよく使われるそう。ステンレスは鉄の溶接よりも難易度が高く、特殊な道具を使いこなす必要があるといいます。

技術を習得するのに少し時間はかかるかもしれませんが、その分「他社でやるより、確実に数段上の技量を身につけられるはず。溶接を極めたい人なら、ここでの経験は間違いなく財産になるし、エキスパートになれると思いますよ」と、吉田社長は力を込めます。

### 新たに退職金制度を導入

さらに吉田社長は、福利厚生充実にも目を向けていきたいと話します。具体策の1つが、退職金です。「今の時代

は先行きが不透明ですよ。安心して定年を迎えられるように」と退職金制度を導入したそうです。

最後に、「ヒカリ」というユニークな社名に込めた思いは――。そう尋ねると、「造船所の未来を、明るく照らしていけるような存在になれば、そんな思いを込めました」と吉田社長。明るい未来へ、光の差す方へ、ヒカりは走り続けます。



代表取締役 吉田貴也

社員が  
本音で語ります

## ここに仕事のやりがい、あります

### 01 造船の世界に飛び込んで約20年 休日は自前の船を操縦し、海釣りへ

現在、船体ブロックの取付・溶接の責任者を任されています。

出身は大分県です。高校を卒業した後、半導体関係の仕事を2年ほど経験し、それからずっと造船業界にお世話になっていますね。白杵造船所での勤務年数は20年弱になりますかね。いくつか別の会社に在籍し、その後ヒカリに転職してきました。

造船業界に移ってきたばかりの頃は、わからないことだらけでした。でも、どんな仕事も最初はそうですよ。私の場合は数年も経てば、ずいぶんと仕事を覚えられるようになりました。

普段は10人ほどのチームで動いていますが、雰囲気はいいですよ。各自、仕事中は集中していますが、コミュニケーションを取り合いながら仲良くやれています。

釣りが趣味なので、休日は釣りに出かけることが多いですね。あまりにも好きで、船舶免許をとって船も購入したんです。自分で船を動かして、海の上で一日中、釣りに浸っています。このあたりの海は、季節によっていろんな魚が釣れるんですよ。(40代男性)



1.チーム作業の現場は作業員同士、声をかけ合い和気あいあいとした雰囲気 2.3.「多能工」の育成がヒカリの方針。溶接、取付と幅広い技能を身につけられる環境がある

こんな人に  
ぴったりの仕事です！

一流の職人技を  
学びたい人

幅広いスキルを  
習得したい人

勢いのある  
新しい会社に  
勤めたい人

チームワークを  
大事にする会社で  
働きたい人

定年後も安心して  
生活したい人

ある職員の1日  
スケジュール

07:00  
起床

07:45  
出社

08:00  
午前始業  
体操

10:00-  
10:15  
休憩

12:00  
午前終業

13:00  
午後始業

15:00-  
15:15  
休憩

16:50  
構内片付け  
清掃

17:00  
午後終業

18:00  
帰宅